月刊 紀伊スポーツ

近畿地区高校野球 県1次予選

甲子園へ 新チーム躍動

秋季近畿地区高校野球大会の県1次予選が8日、和歌山市の紀三井寺球場などで開幕する。新人戦でベスト4に残った南部、智弁和歌山、和歌山東、箕島の4校を除いた34校が出場し、トーナメントで競う。

8日、34校で開幕

力投する南部龍神のエース小川

南部の打線を引っ張る湯川（写真は全て上富田スポーツセンター野球場での新人戦）

※(紀)は紀三井寺球場、(上)は上富田SC、(サ)はサンナンタンランド野球場、(マ)はマツゲン有田球場、(田)は田辺スポーツパーク

田本館工央山薩宮辺北芸工陽陵南本賀風山商専座島高津久山林川工河野宮神	8日11:30(紀)	
笠橋紀央田有高桐新田和紀和向和海初那慶県和和串神日日耐市星貴紀粉熊近南	16日10:00(上)	
	8日11:30(サ)	
	24日8:30(紀)	
中野	9日 9:00(紀)	
	16日12:30(上)	
	9日11:30(紀)	
山歌山歌芝和和歌高古中高和志大部	9日14:00(紀)	
農北山北橋歌山本	17日10:00(上)	
山歌	15日 9:00(上)	
	24日11:00(紀)	
南山	15日11:30(上)	
	17日12:30(上)	
	15日14:00(上)	
	8日9:00(紀)	
歌山商専座島高津久山林川工河野宮神	8日14:00(紀)	
	15日14:00(マ)	
	8日14:00(サ)	
	24日13:30(紀)	
	15日11:30(サ)	
	17日 9:00(マ)	
	15日14:00(サ)	
歌山商専座島高津久山林川工河野宮神	8日14:00(田)	
	17日11:30(マ)	
	9日12:30(田)	
	24日16:00(紀)	
	15日 9:00(マ)	
	17日14:00(マ)	
	15日11:30(マ)	
	8日9:00(サ)	

紀南勢は、南部を除く8校が1次予選に出場する。初戦の組み合わせでは、串本町のサンナンタンランド野球場で8日に南部龍神と近大新宮が対戦し、田辺工業は紀央館と当たる。紀三井寺球場では、9日に新宮が桐蔭と、田辺が和歌山北と対戦する。熊野は15日、有田市のマツゲン有田球場で近大新宮－南部龍神の勝者と対戦。サンナンタンランド野球場では15日、串本古座と神島が対戦する。

29日から紀三井寺球場である2次予選には、新人戦のベスト4と合わせて8校が出場。上位3校が、10月20日から神戸市である近畿大会に出場する。

春の選抜大会出場を目指す田辺地方（みなべ町から串本町まで）の7校を紹介する。

南部

新人戦で準決勝まで勝ち進み、近畿大会の県2次予選進出を決めた。3年生が4人だったため今夏の和歌山大会を経験した2年生が多く、チーム力が安定している。打線は上位の湯川、安井、新人戦で2本塁打を放つなど活躍した4番の尾田が好調。鎌倉海、周家、三木とタイプの違う投手をそろえる。

【新人戦】2回戦○5－4近大新宮▽3回戦○9－7海南▽準々決勝○10－3田辺工業（7回コールド）

南部龍神

新人戦の準々決勝で智弁和歌山に1点差で敗れたが、17安打を放ち、選手らの自信になった。夏の大会からエースの小川が主将を務め、安定した投球でチームを引っ張る。捕手の中岸や、1番打者で遊撃手の中嶋ら周囲もレベルアップした。

【新人戦】2回戦○3－2星林▽3回戦○4－3和歌山商業▽準々決勝●5－6智弁和歌山

田辺工業の投手小西に駆け寄る捕手中家

田辺

投手陣は夏の大会で先発した熊野が試合をつくり、中川、岩根も控える。打撃では1番の新谷、3番の橋、夏の大会から不動の4番の輪玉らが好調だ。

【新人戦】1回戦○7－0紀北工業（7回コールド）▽2回戦●3－13智弁和歌山（7回コールド）

神島

投手では、夏の大会に登板した左向、岩間の2本柱の出来が勝利の鍵を握る。打撃では、新人戦で本塁打を放った義田、けがから復帰して4番を打つ中本に期待が掛かる。

【新人戦】2回戦●6－9和歌山北

熊野

2人しかいない2年生で先発投手の桃原、二塁手の青木修は攻守で鍵を握る。夏の大会では3番を打った1番の丸山から遊撃手の青木大、青木修、桃原と続く上位打線での得点を狙う。

【新人戦】2回戦○10－2笠田（7回コールド）▽3回戦●0－10智弁和歌山（5回コールド）

田辺工業

新人戦は全員野球で8強入りした。夏の大会もレギュラーでマスクを被った捕手の中家が主将になり、攻守でチームを支える。夏の大会に出場した久保警、畑谷を中心に打線は好調。課題は投手力で、小西、平井、寒川らの投手陣の出来が鍵を握る。

【新人戦】2回戦○6－1貴志川▽3回戦○10－4桐蔭▽準々決勝●3－10南部（7回コールド）

串本古座

投手はエースの坂根と1年生の鈴木で試合をつくる。打線は長打力のある4番の芝が軸になる。少ない人数の中、主将の大野がけがから復帰して戦力がアップした。

【新人戦】2回戦●2－3和歌山高専（延長10回）